

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース											
作詞・作曲 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	2
担当教員	西山毅/山田亘			実務経験	有	職種	音楽家				
担当教員紹介											
メジャーレーベルアーティストのサポートプレイヤーとしてコンサート実演、レコーディング等の実務経験を持つ。他長年にわたり個人やグループ等の器楽技術、音楽理論等のレッスン経験を有する。											
授業概要											
この科目を履修する学生は、日本工学院専門学校ミュージックアーティスト科の学生同士で結成したバンドで、基本オリジナルの作詞・作曲による作品を演奏し、学内、学外のイベント、オーディション等に出演する準備のため、より高い演奏力、パフォーマンス、バンドアレンジの向上を目指す。経験と知識の豊富な講師陣により、アドバイスを受け、確実に毎回課題をクリアすることにより、自分達だけでは成し得ない成長のスピードを講師と共に実現していく。											
到達目標											
自分たちのオリジナル作品が、実際どのようにオーディエンスに受け取られているのか？何が自分たちの強みであるのか？自分たちでは気付けないことを、講師陣と共に考え、作品を進化、改善していく。オリジナル作品が完成したら、それを様々なシチュエーションにおいて、常にベストなパフォーマンスが実現できるよう、楽器のサウンド、本番前のマインドセッティング、など、細かい所までプロフェッショナルな準備とは何かを体得し、卒業後も様々なチャンスに自信を持って臨めるようになることを目標とする。											
授業方法											
この授業では、本番に非常に近い環境で、講師陣のアドバイスを受けることができるので、パフォーマンスの十分な準備が必要と思われます。アドバイスを受けた後は、すぐに各スタジオに入って、課題に取り組むことが効果的で望ましいと思われます。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
楽器のスキルを上達させるには、日々の反復練習が必須である。授業に参加するにあたり、前回出された課題は確実に弾き得るようにして、授業に望むこと。日々の練習なくして、技術の向上はありえません。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	授業を履修する学生全員がバンドに属している状態を実現する										
第2回	オリジナル曲作成、方向性などの話し合い										
第3回	楽曲のアレンジ、構成の確認										
第4回	オリジナル曲をステージ上で演奏する										
第5回	前回指摘された課題をクリアする										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
作詞・作曲 3	
第6回	課題のクリアと方向性の話し合い
第7回	中間試験のポイントの確認
第8回	オリジナル曲の完成系をステージで披露
第9回	新しいオリジナル曲を演奏する
第10回	前回指摘された課題をクリアする
第11回	課題のクリアと方向性の話し合い
第12回	パフォーマンスチェック ステージアクション 衣裳 などのチェック
第13回	今回のオリジナル曲の最終チェック
第14回	オリジナル曲 2曲のチェック 期末テストに向けての対策
第15回	2曲のオリジナル曲をステージで演奏